



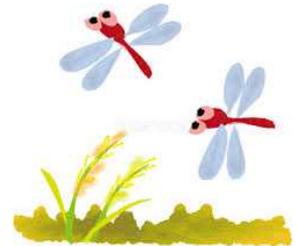
たましゅう  
**玉小っ子**

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和3年度 玉村小学校  
学校だより 第13号  
2021年9月13日発行

今日から通常登校となりました。分散登校午前中授業から始まり、段階的に活動を再開してきました。2学期以降、玉村町でも近隣の市町村でも学校での感染拡大はなく、群馬県においても改善が見られてきました。しかし、緊急事態宣言も延長されており、感染も再び広がってしまう恐れもあります。今後の感染状況を踏まえ、予防策をしっかりと行った上で、学校での活動は行っていききたいと思います。引き続き、ご家庭のご協力をお願いします。

分散登校では、Aグループの子とBグループの子が直接会うことはできませんでした。今日からクラス全員が揃います。新たな気持ちで、再スタートしましょう。



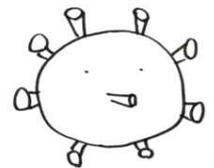
## コロナに負けない! ～始業式のお話より～

新型コロナウイルス感染症には3つの負けないでほしいものがあります。

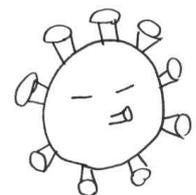
1つ目は、感染症という「病気に負けない」ということです。新型コロナウイルス感染症という病気は、発熱やのどの痛み等の風邪症状ですむ人もいますが、中には肺炎になり重症化してしまっている人もいます。また、知らないうちに人に感染させてしまうという怖さもあります。この病気に負けないためには、手洗いやマスクの着用など、基本的な感染予防をしっかりと行うこと、睡眠や食事など規則正しい生活を心がけ病気に負けない体をつくっておくことが大切です。

2つ目は、「不安に負けない」ということです。この不安は、かかってしまったらどうしようという病気そのものへの不安やいろいろなことが制限される生活の中で気持ちが落ち込んでしまったりやる気がなくなってしまう不安です。この不安に負けないためには、目標をもってしっかりと生活することです。学校でもできる活動は工夫して行っていきます。目標をもって前向きに生活することで不安を吹き飛ばしましょう。それでも、心配な場合は、一人で抱え込まずに相談しましょう。先生、友達、家の人、スクールカウンセラーなど、相談しやすい人に相談してください。

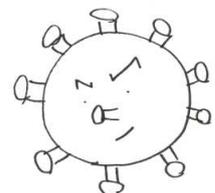
3つ目は、「差別に負けない」ということです。この差別は、うわさ話のようなことを信じたり、感染してしまった人を責めてしまったり、〇〇の地区に住んでいる人はあぶないと言ってしまうたり、咳をしている人を見るとコロナだと思ってしまうたりするなど、「危険」「ばい菌」といったレッテルをはってしまうことです。この差別は、人から人への広がってしまうことも怖いことです。この差別に負けないためには、うわさ話は信じないこと、そして、もし感染してしまった人がいても「早く良くなってね」と思いやりの心をもつことです。一番たいへんなのは、感染してしまった本人です。そして、今は誰がいつ感染してもおかしくありません。コロナの3つのことに負けないで、2学期もがんばりましょう!



第1の“感染症”  
「病気」



第2の“感染症”  
「不安」



第3の“感染症”  
「差別」

日本赤十字資料より

## タブレットパソコンを有効に活用するために

玉村町では昨年度の3学期から1人1台のタブレットパソコンが整備されています。玉村小学校では、ホームページで紹介してきたようにインターネットで調べ学習をしたり、写真や動画を撮ったり、ひらがなや漢字の練習ソフトをつかったり、話し合いを深めるために共有シートでまとめたりするなど、授業での活用はだんだんと進んできました。しかし、家庭に持ち帰っての活用はしていませんでした。あつてはほしくありませんが、今後、長期の休校や学級閉鎖になってしまった時、タブレットパソコンを活用し、家庭と学校でのやりとりができるように、分散登校中に試行してみました。具体的には3年生以上で、タブレットパソコンを持ち帰り、家庭のWi-fi環境を利用してつなげられる人は、グーグルクラスルームに入り、朝の会にリモート参加してもらいました。実際にオンラインでやりとりをしてみることで、活用できる見通しは立ちました。また、課題も出てきており、どのように活用したら有効かは今後も検討していきます。通常登校になってからは学校で保管することを原則としますが、目的をはっきりさせた上で持ち帰り、活用することもしていきます。また、低学年でもタブレットパソコンに触れる場面をふやしていきたいと思います。



## 少人数だからできること～分散登校中の授業から～

2週間の分散登校によりクラスの人数の半分で授業をすることになりました。各教科とも一人一人によく目が行き届き、いつも以上にきめ細かな授業ができました。また、少人数だからできる活動もありました。

音楽では、歌やリコーダー、鍵盤ハーモニカなど、感染リスクが高いとされていることからこの期間は行わず、木琴や鉄器などの打楽器の授業を行っていました。台数も限られているので、普段は全員が一斉使うことはできませんが、この期間は1人1台で十分な活動ができました。楽しそうに取り組んでいる姿が見られました。



家庭科では、ミシンの授業をしていました。普段なら、グループに1台のミシンしかありませんが、1～2人に1台が使える、先生の支援もきめ細かにできるので、難しいミシンの操作には効果的でした。

今日から、クラス全員が揃います。全員が揃っているからこそ学習が深まっていくことも多々あります。自分の考えをしっかりと発表して、授業を盛り上げていってほしいと思います。



玉小のホームページ

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

日々の学校生活を紹介しています。

QRコード

